

及由是の由

のり共年七月日

古海書片之修書

考者卿及主君此等は陸奥京村望所は遠路
事切の長官家 古也

痛

赤用掛

故前右大臣葬送道節別紙
通_り三_年の_り為_り以_て得_り入_り也

十六年七月日
故前右大臣葬送赤用掛

綿貫經視副總監宛

太政官

道筋

岩倉家郎より馬場先門ヲ出鎮古騎兵
兵營前道、右、監軍本部前道、
寄居橋門、出八官町道、右、斜、
ナ経テ直ニ左、ニ葉道、右、大道、
品川
海晏寺、吹路

下りて重きなり道は拙き田高らなり
何れそは修りて却て多しなり并て道は
修りて多しなり出づる道は拙き
端はなり



一
太
收
三